長久手市行政評価票

事業番号	72	事業の名称	KOMEKO TOWNながくて事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 市内産の米粉の需要拡大を市内米生産の増加につなげ、水田の保全及び耕作放棄水田の解消を図る。 (概要) 事業者に対する米粉の利用促進のほか、米粉を使った料理やお菓子のレシピの配布や料理教室等を通し、米粉の認知度を高め、家庭での利用拡大を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	

事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	平成24年度
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び事業者			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	米粉の消費量の増加			

総事業費		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
総事業費 (単位:千円)		100	95	100	80	0
うち	一般財源	100	95	100	80	
	国費・県費					
	地方債					
受益者負担額		40	39	40	33	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

	事業を構成する事務事業	目的 対象(だれ、何に対して)	目的 手段(いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	目的 意図(対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果 成果指標	成果 H23実績 / H24実績 / H24目標値	単位	成果指標の目標値設定の根拠	事業費(単位:千円) H23予算 / H24予算 / H25予算	事業費 H23決算 / H24決算	H24決算の主な内訳(単位:千円)	評価 評価 / 成果 / 事業費	評価の説明
①	米粉de料理(お菓子)教室	市民	● ● 米粉を使った料理及びお菓子を学ぶ教室を開催することで	米粉の特性や使い方について理解し、家庭で使ってもらう。	2回開催(親子対象:13組26人、一般対象:20人参加)	参加者数	58.0 46.0 60.0	人	前年度実績	100 100 0	95 80	講師報償金 60千円 賄材料費 20千円	E - -	平成24年度で廃止を検討する。 一般家庭にも米粉が浸透しつつあり、一定の効果は得られた。 内容については非常に好評であったが、平成24年度は参加者が募集定員に達しなかったことから、事業の廃止を検討する。
②	スマイル米粉フェアの開催	市内外の住民に	● あぐりん村で、米粉を使ったグルメイベントを開催し、多くの人に米粉の美味しさを知ってもらうことで、	事業者の米粉の利用促進と消費者に米粉の美味しさをしってもらい、米粉や米粉商品の購入のきっかけとする。	1回開催 来場者数 1,119人	来場者数 イベント当日のあぐりん村の来場者(レジ通過者)数	— 1,119 1,000	人	土日営業日の来場者数実績	— 0 0	—		C 向上 維持	米粉を使用する事業者及び消費者は増えたが、今後は「米粉」だけにこだわらず、広く「長久手市産」の農産物等を知ってもらうイベントの開催を検討する。 事業費はかけない方向とする。
③	農業展における米粉PRブース出展	市民	● 農業展において、米粉料理の実演と試食を行うことで、	家庭でも米粉料理を実践してもらう。	試食者600人 レシピ150枚配布	試食者数	600 600 600	人	前年度実績	— 0 0	—		C 向上 維持	米粉フェア同様、「米粉」だけにこだわらず、広く「長久手市産」の農産物を知ってもらう機会としたい。農協と連携し事業費はかけない方向で検討する。
④														

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容
	2	スマイル米粉フェアの開催	米粉を含めた長久手産の農産物のPRを行う方法を検討する。
	3	農業展における米粉PRブース出展	米粉を含めた長久手産の農産物のPRを行う方法を検討する。

H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要